

(株)福井洋傘

指を挟まない傘開発

福井洋傘 医療・介護向け

傘製造販売の福井洋傘
(本社福井市浜別所町、
橋本肇社長)は、手開き
傘の開閉時に押す金具
(ハジキ)で指が挟まら
ない「セーフティーアン
ブレラ」を開発した。
同社は、縫製から持ち



福井洋傘が開発した指を挟まない傘「セーフティーアンブレラ」

手付けまで、手作りの高級傘を製造している。今回の商品は、高齢化を背景に市場拡大が見込める医療・介護分野向けとして開発した。

傘を開くときにスライドさせる部分(ロクロ)がハジキを覆う構造になっており、指を挟むトラブルを解消。持ち手部分には、手に巻き付ける牛革ベルトが付いており、

高齢者や握力が弱い人でも使いやすいデザインとなっている。

同社の人気商品「ヌレザ」同様、超撥水ポリエステル生地を採用し、水を掛けても瞬時に流れ落ち、乾いた状態を保つ。傘の骨組みには炭素繊維複合材を使用。一般的な金属の骨組みに比べ、軽いうえ、腐食やサビに強く高い耐久性を実現した。

価格は4万9500円で、12月から首都圏の百貨店を中心に販売予定。同社によると、商品は通常の使用方法なら20〜30年使い続けられる設計という。橋本社長は「弱者に標準を合わせて開発した。使い捨てのビニール傘とは一線を画し、自身の補助具のように愛情を持って使ってもらいたい」と話している。